

平成二十四年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問題

非公開

非公開

問一 本文の論旨を六〇〇字以内でまとめなさい。

問二 「故郷」を棄てるという筆者の考えについて、あなたの意見を六〇〇字以内で述べなさい。

(姜信子、『棄郷ノート』、作品社、二〇〇〇年、五―九ページ、抜粋・一部改変)

平成二十四年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

出題の意図

国際言語文化学科・琉球アジア文化専攻は、琉球・沖縄、および日本・アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、この専攻の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は在日韓国人である筆者が自ら「故郷」の関係について述べたものである。本出題の意図は固定観念に縛られず、「故郷」と帰属意識の関係を考えようとする文章を正確に読み取り、論旨を的確に把握できるかを問うことにある。加えて「故郷を棄てる」という筆者の主張への意見を論述させることで、「故郷」というアイデンティティに関わる問題について論じた文章に対する受験生の理解力、および独自の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力などをみることにある。